

# いわた 文化財だより 第217号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和5年4月3日発行

## 目次

- 旧津倉家住宅主屋・応接棟・土蔵が  
国登録有形文化財へ . . . P1~2
- 徳川家康関連の展示をおこないます . . . P3
- 第2・第4土日も開館！  
埋蔵文化財センターに行こう . . . P4
- コラム『文化財で食べる』谷口安曇 . . . P4

## つくらけ じゅうたく おもや おうせつとう どどう 旧津倉家住宅主屋・応接棟・土蔵が 国登録有形文化財へ

このたび、国の文化審議会から答申が出され、掛塚地区にある「旧津倉家住宅主屋」「旧津倉家住宅応接棟」「旧津倉家住宅土蔵」が国の登録有形文化財（建造物）（※）に登録されることとなりました。

今回の登録で、市内における国の登録有形文化財は、合計で20件（10箇所）となります。磐田の歴史的建造物として、また、地域の資産として大切に次世代へ残していきます。

※建てられて50年を経過した建造物のうち、歴史的景観やその時代の特色、再現が難しい技術などを残している文化財を、国の文化審議会の審議・答申を経て、有形文化財に登録されたもの。



### 津倉家とは？

天竜川の河口に築かれた掛塚湊は、江戸時代から天竜川上流の木材等を江戸や大坂をはじめ、各地へ送り出す水運業の拠点として栄えました。津倉家は、江戸屋と号して江戸時代から材木商・両替商を営み、その後廻船問屋として天竜川上流の木材などの運搬に従事していました。明治時代には、掛塚の中でも有数の規模を誇る豪商でした。

旧津倉家住宅は、平成26年に市に寄贈され、現在は民間団体に管理などを委託しています。内部は普段非公開ですが、管理団体が掛塚まつりや町歩きイベントの際に見学会を開催しているほか、草刈りなど、地域の人々と共に保存・活用しています。

掛塚地区周辺地図

## 旧津倉家住宅主屋



旧津倉家住宅主屋の玄関土間

## 旧津倉家住宅応接棟

昭和10年（1935）に増設したと伝わる応接棟は、当時東京などで流行していた「洋館付住宅」（和風住宅の一部のみを洋風にし、応接間としたもの）を意識して建てられたものと考えられます。



旧津倉家住宅応接棟内部

明治22年（1889）の建築と伝わっています。木造2階建ての瓦葺きで、正面（南側）は、1・2階共に格子窓が見られます。（外観は1ページ目参照）

1階正面は深い庇が設けられている点や、玄関を入ると広い土間がある点など、津倉家が店を営んでいた頃の面影が感じられます。座敷を仕切る襖には正面側に福田半香、背面側に平井頭齋の山水画が描かれ、いずれも市指定文化財となっています。（現在は複製品を飾っています）



旧津倉家住宅土蔵

## 旧津倉家住宅土蔵

明治中期以前の建築です。木造2階建てで、内側は漆喰が塗られており、外壁には伊豆石張りが施されています。湊町として栄えた掛塚で、積み荷を降ろした船が、バランスをとるために積み重ねてきた伊豆石は、地域に根付いた建築資材です。地元の歴史を物語る貴重な建造物です。

**5月27・28日に見学会を開催！詳しくは広報いわた5月号でお知らせします**

まだまだあります！

## 掛塚にある国登録有形文化財



旧掛塚郵便局  
（長谷川家住宅）局舎

### 旧掛塚郵便局（長谷川家住宅）局舎・蔵

旧掛塚郵便局は昭和10年（1935）に建てられた木造2階建て一部平屋建ての局舎で、住宅を兼ねていました。正面と側面をモルタル塗で石造風に仕上げています。正面上部には漆喰を用いて造られた郵便局のマークが飾られています。現在は、内部が改装され店舗として利用されています。

蔵は、明治中期以前に建築されたと考えられ、木造2階建てで、外壁に伊豆石が使われています。



旧掛塚郵便局（長谷川家住宅）蔵



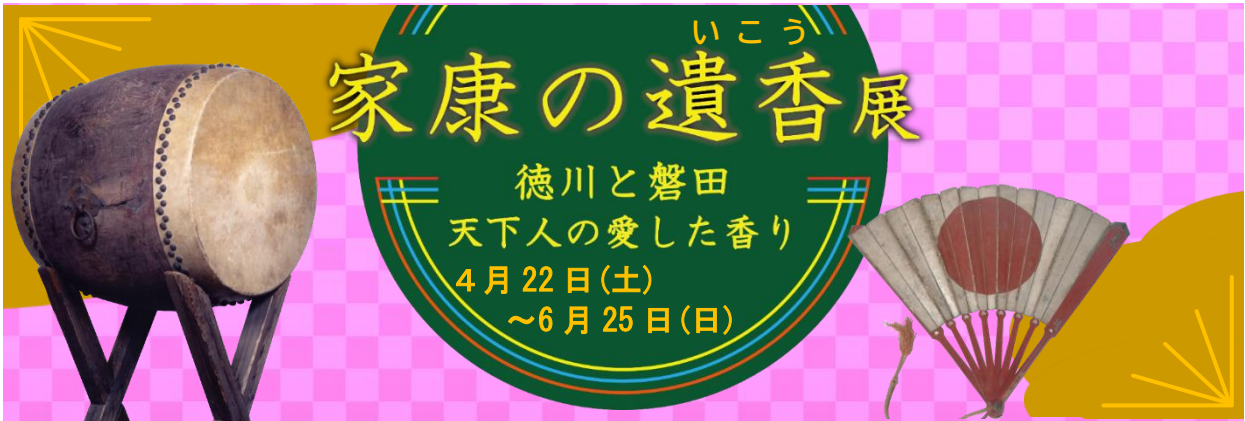
霧谷家住宅主屋

### つるたに 霧谷家住宅主屋

明治17年（1884）頃に建てられた木造2階建ての住宅で、通りに面して立つ町屋形式の店舗兼住宅です。元は造り酒屋で現在「つるや酒店」として営業しています。1階に格子の付いた出窓が残る、明治前期の掛塚の商家の様子が見える建物です。



# 徳川家康関連の展示をおこないます



徳川家康ゆかりの城之崎城に中泉御殿、本多忠勝が活躍した一言坂、酒井忠次ゆかりと伝わる太鼓。このほか家康が残した事跡の紹介や関連資料の展示など、徳川と磐田のかかわりがわかる企画展を開催します。目で見ただけではなく、香りも楽しめる展示です。ぜひ、ご来場ください。

- 会場 磐田市香りの博物館（磐田市立野 2019-15） ●電話 0538-36-8891
- 入館料 一般 310 円、学生（高校生以上）200 円、小・中学生 100 円 ※各種割引あり
- 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分（入館は午後 5 時まで）
- 休館日 月曜日（5 月 1 日は開館） ●公式サイト <https://www.iwata-kaori.jp>

## みどころ 1 家康から拝領した刀と軍扇

家康から拝領したと伝わる県指定文化財「太刀 銘成高」と市指定文化財の「軍扇」を公開します。※「太刀 銘成高は6月6日（火）から25日（日）までの限定公開です



撮影：佐野美術館

県指定文化財「太刀 銘成高」（個人蔵）

## みどころ 2 家康が愛した香りを体感

家康は、香木を収集していたほか、自ら香りの調合をし練香を作るなど“香り”を愛していました。会場では、家康が調合した練香の配合を記した覚書や香原料などを展示するほか、実際に香りを楽しむことも出来ます。ぜひ、天下人の愛した香りをご体感ください。

このほか、市指定文化財の「伝酒井の太鼓」、成瀬家文書の中から「伝馬朱印状」、徳川家達ゆかりの「食籠」なども展示します。

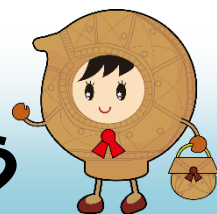
## イベント情報

市指定文化財「伝酒井の太鼓」を叩く特別なイベントや、展示解説をおこないます。詳しくは右二次元コードからご覧ください。



## 第2・第4土日も開館！

# 埋蔵文化財センターに行こう



文化財課  
キャラクター  
ともちゃん

令和5年4月から7月まで、平日に加え第2と第4土曜日・日曜日にも埋蔵文化財センターを開館します。

この機会に、磐田から出土した埴輪<sup>はにわ</sup>や土器などをぜひ見に来ませんか。報告書などの書籍の販売、市内各地の文化財を紹介したパンフレットの配布もおこなっています！



埋蔵文化財センター外観



市内から出土した埴輪

開館時間：午前8時30分～午後5時15分 **入場無料**

ところ：磐田市見付 3678-1

(磐田市立中央図書館東側建物)

休館日：土曜日・日曜日（第2・第4は開館）、  
祝日、年末年始（12/28～1/3）

駐車場：あり（磐田市立中央図書館と共用）

※埋蔵文化財包蔵地内での工事のご相談や、届出の受付は平日のみとなります。

## 職員リレー コラム

### 文化財で食べる

谷口 安曇

本号2ページ下段の記事にもあるとおり、登録有形文化財を飲食店として活用されている事例があります。市内には2軒あり、1軒は掛塚の『旧掛塚郵便局』を活用した「蕎麦切りヤルダ」、もう1軒は壱貫地の『大箸家住宅』を活用した「花咲乃庄」です。



ロゴ

窓口カウンターを活かした店内

どちらのお蕎麦もそれぞれにお蕎麦と出汁のよい香りが感じられ、とても深い味わいでした。きれいに手入れされた歴史的な建物の外観と内部を見学しながらおいしい食事ができる、見て味わって楽しめるお店です。

所有者の方々の努力によって現在まで保存されてきた歴史的な建物に、ぜひ訪れてみてください。

「蕎麦切りヤルダ」は昭和10年に建てられた郵便局の窓口カウンターをそのまま客席に利用しており、郵便マークを箸とお蕎麦に見立てたロゴがあらこちらに使われています。「花咲乃庄」は、江戸時代末期に造り酒屋を営んでいた旧家の主屋や蔵などが文化財となっており、店内の客席から枯山水の庭を眺めながらお蕎麦などの食事を楽しめます。



大箸家住宅の蔵と門

**編集後記** 掛塚にある旧津倉家住宅が国登録有形文化財に登録されます。散策するにもよい季節になりました。周辺の文化財を含め、散策してみたいかがでしょうか。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 **磐田 文化財だより** **検索**